



広報えひな

市章

発行・海老名市役所・海老名市国分155/編集・秘書広報課/電話・31-2111(代) / 〒243

世帯と人口

57年5月1日現在

世帯 25,564世帯 (+494)
人口 84,377人 (+779)
男 43,340人 女 41,037人

毎月1日・15日発行



釣果は上々(5月19日、第2漁協員による試し釣りで)

今日一日、相模川のアユ漁が解禁になり、十月十四日までの間、川原は釣り人や川遊びの人々でにぎわうことになります。今年は昨年に比べ、天然アユが海からさかのぼつて来る時期が遅く、稚アユの放流が多めに行われています。そのため、釣果はほぼ昨年並みが期待されていますが、市沿岸を管理する相模川第二漁業協同組合海老名支部(岡部好直支部長)では、川原の美化にも注意していたとき、楽しい釣りや川遊びを、と話しています。

最大体長は30センチ程度。産卵は9~12月、産卵後親魚は死ぬ。化した稚魚は海に下って越冬し、翌春の3~5月ごろ川の水温が10度を超えた時群れをなして上る。1年一生を終える。香りがよい魚で「香魚」の別名がある。

今月1日、相模川アユ漁解禁

若アユおどる!

大型ぞろいの天然もの



☆忘れないで!
環境の美化☆

これを「ウルカ」といい、アユ料理の中でも最も珍味とされるものです。どうか、みなさんの周囲の道路や公園とともに川原の美化にも努めてくださるようお願いします。

これを「かまく」、「一ヶ月に一回取り出してください。五六年もたつと、酒のサカナやご飯のおかずは最高です。また、これは胃腸薬としても昔から珍重されています。

それを楽しむときに大きせな

大ものもいました。

放流アユは、五月末までに相

模川全体で百七十二万尾で、今

一度といわれる海水の低温現象

で海から稚アユがそよぐのが

遅くなる。この時期が遅れてお

り、数が少ないのですが、代わ

りに大型が多くなっています。

五月十九日、市沿岸を含む地

域を管理している相模川第二漁

業協同組合海老名支部長役

員十人が約一時間行なった試し

釣りでは、十数前後の小型のも

のを再放流した釣果で、二十枚

クラスを中心にして五十尾の天然ア

譲り合い忘れずに ゴミの持ち帰りは大原則

☆こうして釣る

相模川のアユ☆

相模川でのアユ釣りは、コロガシ釣りが主流。長さ六・五メートルの先にコロガシ専用のハリをつけ、魚体を引っかけるように釣ります。

そのほか、投網で採る方法もあります。しかし、他の川でよく行われている反釣りはありません。

また、相模川ではアユのほか

コイ、ブナ、ヤマベ(オイカワ)、ウナギなど多種類の魚が釣れます。が、コイは十八センチ以下、ウナギは二十四センチ以下のものは釣れています。さらにブナやヤマベについても特に体長による再

放流の規定はありませんが、これもあり小さなものは放してやつてほんじ、と漁協では話しています。

☆試してみては?

珍しいアユ料理☆

アユは、川魚の中でも最も美味な魚のひとつで、その最高の食べ方は塩焼き、テンブラ、田楽とされ、みなさんよく存知のことですが、そのほか身で食べるという方法もあります。

第一に、釣りたてのアユは刺身で食べるという方法もあります。

また、みなさんは、アユを料理するとき、腹ワタを出して捨てるとき、これが何といつても再放流するよう漁協で規定しています。さらに漁協では、常に置いて漬け込みます。こ



アユを釣つて40年

「相模川のアユ」のようないいえいはあります。

高橋武雄さん(河原口、62歳)は:

子供の時からアユを釣り始めて四十年余りになるでしょう。

アユ釣りの妙味は何といつても、その引きの強さにあると思います。コロガシ釣りで

各種美化キャンペーンを展開中

また、アユ漁シーズンもモビ

クを過ぎる例年九月、「相模川美化ギャンバーン」と題して沿

岸市民が多数参加して川原の清

潔を行いますが、今年は九月十九日(日)に予定されています。

現在、六月十一日まで県内で

は「かながわ環境月間」として

各種美化キャンペーンを展開中

釣り具店での遊漁券価格

区分	遊漁料金
年釣券	4,500円
日釣券	500円
稚魚券	300円
日網券	2,000円
中学生券	(日釣・稚魚)半額
年網券	10,000円

※ただし、現場で漁場監視員に支払うときは、日釣料金100円、日網料金300円がそれぞれ追加されます。

かかってくるアユは最初から最後まで強烈な空氣こだえを楽しめてくれ、一度おぼえたらやめられなくなります。

最近、釣り人のマナーの悪さが話題になっていますが、昔に比べ、平日と日曜・祝日を平均しても三倍以上の釣り人が常時釣っている状況の中ではお互いに譲り合いの精神で楽しく釣りたいですね。

「ゴミを捨てて帰る人は、各

方面的P.R.が効いたのか、少

なくなりているようだ。喜んでよい傾向だと思います。

今年も健康を釣るという気持ちは可能限り相模川へ出

かけたいと思っています。

○「ゴミは必ず持ち帰る。特にビニール・空きビン類を捨てる方、釣りにくくなったり、ケガのものとなる。

○遊漁券を買って釣りをする。

券は釣り具店で売っています。価格は左表通りです。

なお、例年行われていた十二月一日~三十日の再解禁はこの

期間でまだ産卵の終わっていないアユの増殖保護のため、今年から禁止されました。

○遊漁券を買って釣りをする。券は釣り争いをせず、譲り合いのマナーです。特にゴミを川原に投げ捨てるところは、自然環境を破壊し、果ては魚たちの生活にも悪影響を及ぼすことになり、結果的に釣り場を少なくつづいては放流をする計画です。

最終的には百八十万尾(昨年百八十万尾)が放流される計画です。

しかし、遅れていた天然アユのそばは、最近になって活発化のそばは、最近になって活発化しておる。漁協関係者は、「場合によっては魚釣りが上がるのではないか」と期待を寄せています。



毎日が練習…

「マリア・カラスが亡くなった時、テレビで彼女のオペラ特集を見たから声楽というものを興味を持つようになりました」
甘利真美さん(5月)・三日、上野の東京文化会館で多聞の聴衆を前に歌を披露した。この「新人演奏会」は、楽界への音楽成績で卒業した新卒生がわが国音楽界へ

「アーチー・カラスが亡くなった時のデビュを飾る催し」
甘利さんは、神奈川県内から出場した八人のうちの一人として参加した。
「学生時代は、毎日三四時間は声楽とアーチーの練習があり、毎日かなりきついスケジュールでしたから、どうして一日は二十四時間しかないのか、なぜ考えたんだ?」
「新入演奏会」で歌った

甘利真美さん(国分)
音楽は心の表現…

「アーチー・カラスが亡くなった時のデビュを飾る催し」
甘利さんは、神奈川県内から出場した八人のうちの一人として参加した。
「学生時代は、毎日三四時間は声楽とアーチーの練習があり、毎日かなりきついスケジュールでしたから、どうして一日は二十四時間しかないのか、なぜ考えたんだ?」
「新入演奏会」で歌った

甘利真美さん(国分)
音楽は心の表現…

音楽教師として教へた

